



© SAIBUGAS

寒い日には、ガス給湯器の凍結にご注意ください！

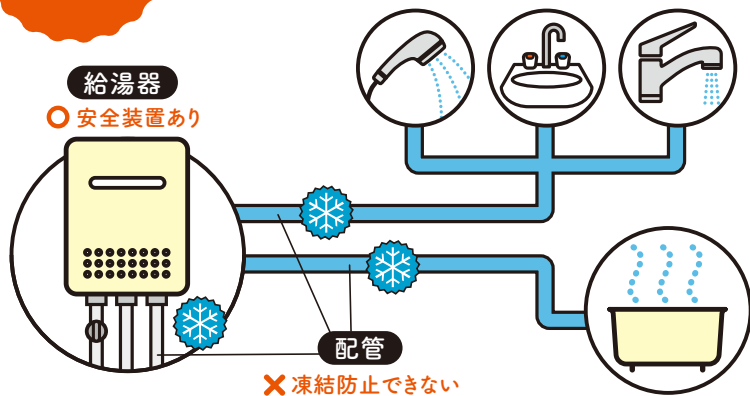
給湯機器

冬、見落としがちなのが屋外に設置されている給湯機器の配管！凍結すると、お湯が出なくなったり給湯器が壊れることも。寒くなる前に、チェックしておこう！！



凍結予防について

給湯器の安全装置は本体のみ、配管までは凍結防止できません。



※安全装置が働かなくなりますので、100V電源コンセントは抜かないでください。
※長期不在される場合は、機器内部の水抜きをお願いします（取扱説明書をご確認ください）。

だから、備えが大事！

ここを巻いて保護しておこう！

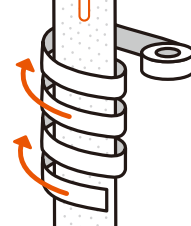
準備するもの

- 市販の筒状スポンジ
- ビニールテープ



POINT

ビニールテープは下から上に巻く



その他の凍結防止の方法

【通水による凍結防止】

- ① リモコンを「切」または「OFF」に。

※リモコンがない場合は、給湯器のガス元栓を開けてください。



OFF /

給湯器



ガスの元栓を閉める（地面と平行）

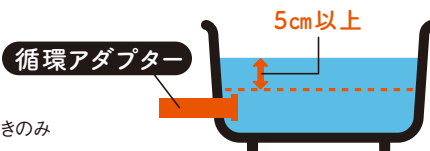
- ② 給湯機器につながる給湯栓のうち、いずれか一か所のお湯側の蛇口を開き、少し水を流してください。



※流れる水の太さが4mm程度（1分間に400cc程度）
※流したままにしておく

【ふろ追い焚きの凍結防止】

浴槽の水を循環アダプター上部より、5cm以上ある状態にしてください。※追い焚き機能付きのみ



※ポンプが自動的に浴槽の水を循環させて凍結を予防します。

※凍結予防運転中は給湯機器からポンプが運転する音（ウーンという音）がします。

配管が凍結した場合

お湯側の給湯栓を一杯に開いても何も出てこない、ポタポタとしか出てこない場合は、給水管が凍結していることが考えられます。

日中の気温が上がり自然に解凍するまでお待ちください。

